

会長挨拶

福岡大学工学部建築学科教授

堺 純一

福岡県建築鉄骨協議会が2003年に創設され、2024年度で創立20周年を迎えることになりました。これは、産官学の立場から参加頂いています皆様からの多大なるご支援とご協力の賜物であり、心より感謝とお礼を申し上げます。

本協議会の創設時、河野昭彦先生（当時、九州大学教授）が会長、濱田敬二氏（当時、日本建築構造技術社協会（JSCA）九州支部長）が副会長を務められ、10年間の活動実績を2013年度に創立10周年記念誌としてまとめられています。

今回の記念誌は、その後の10年間の活動についてまとめたものになります。

2014年度から津田惠吾先生（当時、北九州市立大学教授）が会長、尾宮洋一氏（当時、鹿島建設九州支店建築設計部構造グループ長、JSCA九州支部顧問）が副会長を務められています。その後、2019年3月に津田先生が北九州市立大学を定年退職されたこともあり、2019年度より私が会長を引継ぎ、尾宮副会長とともに活動を続けて、現在に至っています。この協議会の発起人の一人でもあり、積極的に活動して頂きました中野盛行氏は2020年6月に工業組合福岡県鉄構工業会専務理事を退任されました。現在、顧問の立場でこの協議会を見守って頂いています。現在、隈 勇一郎氏（工業組合福岡県鉄構工業会事務局長）が熱心に本協議会をサポートして頂いています。九州だけでなく、東京、大阪をはじめとする全国の鋼構造研究者・技術者の方々からも、本協議会が貴重な産官学の情報交換の場であることが認められています。これも、和田 徹氏（鋼構造出版大阪支社副部長）が鋼構造ジャーナルを通じて本協議会の活動の広報をして頂いているおかげです。今回の20周年記念の活動は、隈氏と和田氏による貢献が大きく、感謝申し上げます。

本協議会は、産官学の交流の場として年に4回開催しています。鉄鋼メーカーの方による鉄鋼に関する世界情勢や我が国の状況、各企業団体による各種の製品開発など、JSCA会員の方々による実務設計の実情、福岡市職員の方による「天神ビックバン」や「博多コネクティッド」の現状と計画、大学の先生方による鉄骨や合成構造の最近の研究など、多岐に渡るトピックスの報告を通じて、お互いに情報交換が創設以来継続できたことは有意義であったと思います。

2020年から2年間ほど、新型コロナウイルス感染症の影響で協議会が中断していましたが、皆様からの熱いご支援とご協力により2022年度から平常通り、協議会を再開できました。これから、持続可能な社会を目指すべく、建設業界を取り巻く状況も厳しく種々の課題と対峙していかなければなりません。特に、カーボンニュートラルや省エネルギー化などの地球環境問題、人材不足、建設費高騰など課題が山積みですが、これらの課題に対して産官学がそれぞれの立場で真摯に取り組み、よりよい社会の構築を目指した活動が重要と思われれます。

今後とも、本協議会の発展のために益々のご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。会長挨拶に代えさせていただきます。